

# 鳥獣の 保護管理

## 地域一体となって獣害対策に取り組む（益田地区）

～ 獣害に強い集落づくりを目指す ～

### 研究の背景・目的

本県では、市町や集落等による被害対策の取り組みはあるものの、中山間地域を中心に野生鳥獣による農林作物等への被害は依然として深刻な状況です。そこで、クマの主要な生息地であり、県内でも早い段階からクマの被害対策等が行われてきた益田市匹見町において、集落ぐるみの対策による実践型研究プロジェクトを実施します。地域住民の意識調査から地域一体となったクマ対策等に取り組むための集落へのアプローチの方法を模索しながら、その手法を確立します。

### 研究方法

益田市匹見地区において、地域が一体となった獣害対策の取り組みの効果を検証します。出没・被害状況を集落の土地利用や森林環境などから分析して、効果的な被害対策のための技術手法を確立します。また、集落ぐるみでの被害対策の取り組みにマンパワーが不足している場合の解決策についても検討します。

### 研究状況

匹見地区での被害状況、集落ぐるみでの被害対策の取り組みへの意識等を把握するためにアンケート調査を実施しました。「獣害は増えたか」には、「サルの被害が増えた」が62%と最も多く、「クマとイノシシは変わらない」が30%でした。「獣害対策は誰が中心となって行うべきか」には、「市町が取り組む」が74%と最も多かったが、「集落全体で取り組む」が65%、「各自で取り組む」が40%でした。また、「集落一体での取り組みに参加するか」には、「積極的に参加する」と「できる範囲で参加する」が83%と多かった。したがって、行政への依存意識は高かったものの、集落一体での取り組みへの参加意欲は高く、今後の集落ぐるみでの獣害対策は期待できます。

アンケート調査による「サル対策を中心に獣害対策を勉強したい」との要望を受けて、2014年2、3月に勉強会を開催しました。①鳥獣対策の基本、②クマとサルの生態と対策、③イノシシの生態と対策、④アライグマとヌートリアの生態、対策および捕獲方法の4講座を3地区（匹見上、匹見下、道川）で行いました（写真1）。講座形式の勉強会は、多様な研修内容を設定できて、受講したい研修を選択できるメリットがあります。勉強会では、「今度はサルの追い払い方法の研修を受けたい」、「これまでクマに5回も遭遇したが、追い払った」などの意見交換も活発でした。今後も集落点検や追い払い研修などを行って、集落ぐるみでの被害対策に取り組めるように支援をしていく必要があります。



写真1 獣害対策の勉強会

### 研究成果の活用・今後の研究計画

モデル地域において、地域一体となった獣害対策によって被害軽減効果が実証できれば、効果的な取り組みとして、県内全域へ普及させることができます。

また、獣害を集落の許容範囲に抑えることによって、集落の維持と活性化につながります。

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER  
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

担当科 : 鳥獣対策科

研究担当者 : 澤田 誠吾

問い合わせ先 : 0854-76-3818 (直通)

E-mail : [chusankan@pref.shimane.lg.jp](mailto:chusankan@pref.shimane.lg.jp) (代表)

試験研究課題名 : クマをはじめとする野生動物との軋轢軽減へ向けての地域一体となった取り組み (研究期間 : H24年7月～H28年7月)

